



# 学校給食会だより



HP QRコード

熊本市南区富合町小岩瀬98  
TEL.096-357-1211 (物資)  
TEL.096-357-1212 (総務)  
FAX.096-357-1216

## 新年のごあいさつ

熊本県学校給食会 理事長  
緒方 明治



新年明けましておめでとうございます。

日頃から公益財団法人熊本県学校給食会に対しましてご理解とご協力いただいておりますことにお礼申し上げます。

学校では、子ども達の目標に向かう姿があり素晴らしい新年を迎えられていることと思います。

昨年、熊本県教育委員会研究指定校である嘉島町立嘉島東小学校と八代市立鏡中学校の発表会に参加しました。

嘉島東小学校では、よりよい食事の献立をたてるために、意見を出し合う児童の姿がありました。また、鏡中学校では、自分に不足しがちである食材を補う自分のライフスタイルに合った食事の取り方について協議する生徒の姿がありました。どちらの学校も、栄養教諭の専門的なアドバイスがあり、生き生きとした子ども達の発表する姿を観ることが出来ました。その姿に未来を感じると同時に学校給食が子ども達の健やかな成長に果たしている役割を再認識しました。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響や世界情勢の不安定さから物価が高騰し、給食費への影響が懸念され学校給食費の無償化等の様々な議論がなされています。

安全・安心で先生方の思いがこもった給食が児童・生徒に提供できる環境整備について議論がより深まればと思うところです。

学校給食会では、今年も現場の先生方のニーズに応じた物資の提供や熊本県産の食材を使った商品を県内企業とともに開発し提供していきたいと思えます。

これからも学校給食会は、これまで以上に職員一同「子どもたちのために日々の努力を!!」をモットーに、安全・安心かつ低廉な価格で物資の提供並びに様々な事業の展開はもとより、現場の先生方のニーズに応えるとともに学校給食の円滑な実施の支援にしっかりと取り組んでまいります。皆様方の一層のご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



CONTENTS	
●新年のごあいさつ	
本会理事長	1p
県体育保健課長	2p
県栄養教諭・学校栄養職員研究会理事長	3p
県学校栄養士協議会会長	3p
●県学校給食共同調理場連絡協議会	
令和5年度県外研修 報告	4p

# 年頭所感

熊本県教育庁首席審議員兼県立学校教育局体育保健課長  
奥園 栄純



新年あけましておめでとうございます。

本県の学校における食育の推進と学校給食の充実に御尽力をいただいております関係の皆様謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

さて、食育基本法前文には「子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、何よりも「食」が重要である。」と記されています。

本年度、本県の児童生徒を対象に県教育委員会が実施した「食育に関するアンケート」の結果をみると、約9割の児童生徒が日頃の食べ物や作った人に感謝して食べていることが分かります。さらに、栄養のバランスに気をつけて食べる児童生徒は、昨年度より増えています。

(表1) 食育に関するアンケート

質問項目	ア 食べ物の産地や料理の歴史について関心がある(食文化)
	イ 食べ物や作った人に感謝して食べる(感謝の心)
	ウ はしの使い方や話題など、食事のマナーに気をつけて食べる(食事のマナー)
	エ 栄養のバランスに気をつけて食べる(心身の健康)

(表1)

今後も、現下の物価高騰に伴う事業者による食材費の値上げ等の影響を受けることが予想されますが、地場産物や国産物等を使用し、児童生徒が必要な各栄養素をバランス良く摂取し様々な食に触れることができるよう御配慮いただくとともに、適切な学校給食及び食に関する指導を実施していただきますようお願いいたします。

また、公益財団法人熊本県学校給食会におかれましては、昨年度より県産小麦粉50%以上を含む国産小麦粉を100%使用した学校給食用パンの提供、さらに本年度は脱脂粉乳を国産化する等、安全・安心な給食物資の安定的な提供をはじめ、地場産物を活用し地元企業と連携した給食物資の研究と開発にも取り組んで

対象	質問概要	「はい」 「どちらかといえば そうである」(%)	「いいえ」 「どちらかといえば そうではない」(%)
小学校 (小学部) 5年生	ア 食文化	56.6	43.4
	イ 感謝の心	96.1	3.9
	ウ 食事のマナー	89.4	10.6
	エ 心身の健康	80.1	19.9
中学校 (中学部) 2年生	ア 食文化	48.5	51.5
	イ 感謝の心	96.7	3.3
	ウ 食事のマナー	93.4	6.6
	エ 心身の健康	80.4	19.6
高等学校 (高等部) 2年生	ア 食文化	46.7	53.3
	イ 感謝の心	97.8	2.2
	ウ 食事のマナー	94.8	5.2
	エ 心身の健康	79.2	20.8

令和5年度(2023年度)健康教育実態調査

おられます。また、価格面からも現場の負担軽減につながる取組みについても尽力いただいております。

今なお、世界情勢や気候変動による物資の供給不足や物価高騰は続いている状況ですが、子供たちの笑顔あふれる学校給食の推進に向けて、地場産物を生かした郷土料理や、学校給食衛生管理基準に基づいた学校給食が提供されるとともに、学校における食育が推進されますよう、公益財団法人熊本県学校給食会をはじめ、関係の皆様方としっかりと連携して参りたいと考えております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

# 新年のごあいさつ

熊本県栄養教諭・学校栄養職員研究会  
理事長 松岡 珠美 先生  
(熊本市立西原共同調理場)

新年あけまして  
おめでとうございます。

日頃から熊本  
県栄養教諭・学校  
栄養職員研究会  
に対しまして、ご  
理解とご協力をい  
ただいております  
ことに深くお礼申  
し上げます。



昨年は、本研究会でも集合型の研  
修会を4年ぶりに開催いたしました。  
特に、夏期研修会では、公益財団法人  
熊本県学校給食会様の物資展示  
会と同会場で実施させていただき、  
関係の皆様方には大変お世話になり  
ました。

さて、新年といえば、食育に携わる  
私たちが大切にしたいおせち料理が  
あります。

深く強く根を張った学校給食の栄  
養管理と衛生管理を行い(たたきご  
ぼう)、子どもたちの食に関する知識  
(伊達巻き)を学校における食育の  
中で育み、勤勉にまめに(黒豆)、粘  
り強く(餅)、栄養教諭・学校栄養職  
員として会員全員で知恵を出し合い  
ながら、明るい未来の見通しをもち  
(れんこん)、本年も、未来につながる  
食育と子どもたちの健康と笑顔を作  
る学校給食の発展に貢献できますよ  
う努めてまいります。

昨年同様のご支援、ご指導を賜り  
ますようお願い申し上げます。新しい  
年が皆様にとりまして、より一層輝か  
しい1年となりますよう心よりご祈念  
申し上げます。

本年もどうぞよろしくようお願い申し  
上げます。

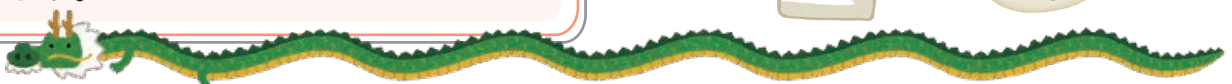
熊本県学校栄養士協議会  
会長 中河原 晶 先生  
(熊本市立託麻原小学校)

謹んで新年のお  
喜びを申し上げます。今年  
は辰年です。想像上の生き  
物である竜(龍)は、権力  
や隆盛を象徴し、出世や権  
力に関わる年といわれま  
す。また、辰は「振るう」と  
いう意味があり、陽の気が  
動き、成長や形が整う年  
ともいわれています。



昨今、栄養教諭を取り巻く環境が  
変化しつつあります。昨年1月に「養  
護教諭及び栄養教諭の資質能力の向  
上に関する調査研究協力者会議」の  
取りまとめが公表され、7月には「養  
護教諭及び栄養教諭の標準的な職  
務の明確化に係る学校管理規則の参  
考例」が示されるなど、栄養教諭の  
真価が問われております。

本年、辰年にあやかり、栄養教諭  
が、教育現場で不可欠な専門職とし  
て飛躍する一年にして参りましょう。



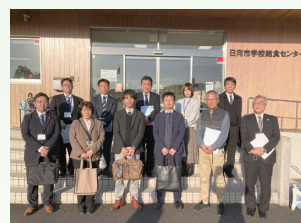
# 熊本県学校給食共同調理場連絡協議会 令和5年度県外研修 報告

熊本県学校給食共同調理場連絡協議会では例年、県外研修を行っています。令和2～4年度の間は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止となり、令和元年以来4年ぶりの実施となりました。

今回の研修では、学校給食共同調理場、センターの所長様を対象に11月29日（水）、30日（木）の2日間、宮崎県の2つの学校給食センターを訪問しました。

## <1日目> 日向市学校給食センター

日向市学校給食センターは、平成27年4月から供用が開始され、敷地面積 13,025.30 m<sup>2</sup>、延床面積 3,077.96 m<sup>2</sup>の鉄骨造一部2階建てのセンターです。最大 6,500 食/日の調理能力で、現在は2献立（別にアレルギー対応調理）計 5,340 食を提供されています。また、対象の学校数は22校（小学校15校、中学校7校）及び市立幼稚園2園で、8台のトラックで配送されます。調理・配送業務等は民間委託で行っています。



## <2日目> 門川町学校給食センター

門川町学校給食センターは、門川町内3カ所の調理施設を統合し令和4年8月に新築されました。敷地面積 10,051.96 m<sup>2</sup>、建物面積 1,391.54 m<sup>2</sup>の鉄骨造平屋建てのセンターです。最大 1,700 食/日の調理能力で、現在は約 1,600 食を提供されています。また、対象学校数は4校（小学校3校、中学校1校）でアレルギー対応が必要な児童生徒が31名含まれます。調理配送等は業務委託で行っています。



今回の研修では、学校給食センターについてだけではなく、他県の給食への取り組みや本県との違いを伺うこともできました。また、久しぶりの開催でしたが、熱心な質問もあり、交流が深まる実りある研修となりました。

本研修にご協力いただきました皆さま、誠にありがとうございました。



## ～編集後記～

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

本号発行に際しましてはご多用な中、快くご寄稿・ご協力いただきました皆様方に心より感謝申し上げます。本会ではご意見、ご感想や食に関する取組等の情報をお待ちしております。お気軽にご連絡ください。

2023年は、本会でも多くの行事を参集型で開催したり、出張等の機会が増え、従来通りに回復してきたように感じます。しかし、新型コロナ感染症以外の感染症増加や、世界情勢の影響による物価高騰等、課題も散見するところです。

本会では2024年も引き続き、学校給食の重要性を強く意識しながら、バックアップを行ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

